



～やればできる～

伸びゆく我ら

【11月の生活目標】おむすびそうじをがんばろう！

令和3年11月11日発行

第20号

文責：校長 石橋博道

久しぶりの授業参観！

現在、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているので、今週は各学年の授業参観を予定どおり実施しました。中には、前後して「親子レク」を行った学年もありました。久しぶりの授業参観、そして親子レクに、たくさんの保護者の皆様に来ていただきました。ご多用な中ありがとうございました。感染症対策へのご協力にも感謝です。しかし、とにかく教室が狭いために、教室に入れるのは十名ほど。大半の方は廊下からの参観となってしまい、申し訳なかったです。

「命についての学習会」

5年生は、8日(月)の授業参観の前に親子で学習会を行いました。講師に、前長崎市教育委員の吉松眞理子氏を迎え、「何よりもあなたが大切」と題して、講話をしていただきました。子育て支援センター『ぴよぴよ』の運営、NPO法人『おなかの赤ちゃんヘルプライン』の理事をしている吉松様は、子育てに悩むお母さんやこれからお母さんになる妊婦の方の支援に長年携わっており、この日も、「愛」あふれるお話をいただきました。(※裏面に感想を載せてます。)

5年生宿泊学習

10月27日、28日、5年生が毎年恒例の宿泊学習を実施しました。場所は、「日吉自然の家」。本来なら、2泊3日の学習ですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に引き続き、今年度も1泊2日に短縮されました。ありがたかったのは、本校の規模、児童数の場合、単独貸し切りになり、他校と活動時間のすり合わせをする必要がないので、とても活動しやすく、すべて予定どおり実施できたことです。天候にも恵まれました。



ベッドメイキングの講習

- 【1日目】①入所式&オリエンテーション ②トレッキング(ペンギン水族館で昼食)
③すり身体験 ④夕食 ⑤ナイトウォーク ⑥入浴 ⑦就寝(22:00)
【2日目】①起床(6:30) ②朝のつどい ③寝具の整頓片付け ④朝食 ⑤清掃
⑥飯ごう炊さん(昼食のカレー作り) ⑦退所式

それでも、食事、入浴、ベッドメイキング、その準備や片付けなど、普段より厳しいルールの下、ずいぶん苦労した子どもたちもいたそうです。普段、家族に支えられているお家での生活とは異なり、すべて自分たちで行うことの難しさ、めんどくささを感じたことと思います。あわせて、今回の経験を通して、親や家族への感謝の気持ち、協力することの大切さも感じたのではないのでしょうか。5年生が、この経験を家庭生活や学校生活に活かしてくれることを大いに期待しています。



カレー作り

【お知らせ】

ご存知のとおり、現在、国の『GIGスクール推進事業』の下、一人一台の端末(Chromebook)を活用した学習活動を進めているところですが、本校でも、すべての学年で、1日1回は端末を扱うようにしようと取り組んでいます。

今後は、家庭への持ち帰りも視野に入れていきます。何かとご協力いただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

さて、端末のタッチパネルを操作する時に便利な「タッチペン」を一人一本ずつ配布しましたので、紛失しないよう、記名をお願いします。これは、渡邊様(1-2保護者)より頂いたものです。1学期のうちに頂いていたのですが、全学年が端末に慣れてきたこのタイミングでお配りしました。渡邊様ありがとうございました。



「命についての学習会」に参加した皆さんの感想をいくつか紹介します。

【児童の感想】

- 自分が3億分の一という確率で生まれてきた奇跡の存在だということがわかりました。
- お母さん、自分を命がけで産んでくれてありがとう。
- 自分がいかに幸せかわかりました。
- 今度は、お父さんやお母さんに何かしてあげたいと思います。
- 親に愛される分だけ親を愛そうと思いました。
- 自分もお母さんを大切にしようと思いました。
- お母さんは怒りたくて怒ってるんじゃないで、心配して怒っているんだということがわかりました。

※たくさんの方が、同様の感想を書いていました。

【保護者の感想】

- 今日貴重な機会を設けていただきありがとうございました。ネット依存の恐怖。なぜ、口うるさく注意してしまうのか。親の心配や思い。命の大切さ。赤ちゃんがどのように生まれてくるのか等々。日頃家で面と向かっては、なかなか話しづらいことを講師の先生を介して子どもに伝えられ、理解してもらえたのではないかと思います。
- お話を聞いて、子どもを産んだ時の気持ちを思い出し、これからもっともっと子どもに愛情を注いでいきたいと思いました。
- 思春期の子どもに厳しく叱ってしまうことばかりになっていたもので、小さい頃の悩みや大変さを思い出して、改めて子どもへの愛情を確認できました。
- あたりまえに生きていることがとても幸せなことだと改めて感じさせていただきました。帰って夕ご飯の準備をしている時、「お母さん気をつけて作ってね！」と優しい言葉をかけてくれました。嬉しくて、「〇〇がお母さんの子どもで良かったよ。」と言うと「〇〇もお母さんの子どもで良かったよ。」と言ってくれ、幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。
- 親の気持ちを代弁していただいてありがたく思いました。注意しているのは”心配だから” ”あなたのためだから” という事、他者に言われた方が耳に入ることもあると思います。命の大切さ、このように時々お話があることで、思い返すことができると思います。何となく過ぎてしまうものなので、このように立ち止まって考えるという機会は、今後も必要と思います。ありがとうございました。